

第1 人口と世帯

1 人口の動向

(1) 総人口

平成13年10月1日現在の総人口は5,028,729人

平成13年10月1日現在の福岡県の総人口は5,028,729人で、この1年間(平成12年10月1日～13年9月30日)に13,030人(0.26%)増加した。(表1、表2、図1)

人口を男女別にみると、男性は2,392,707人(総人口の47.58%)、女性は2,636,022人(同52.42%)で、女性が男性より243,315人多く、この1年間に男性は3,883人(0.16%)、女性は9,147人(0.35%)それぞれ増加している。性比は90.8で、前年に比べ0.1低下している。(表3)

表1 10月1日現在総人口、構成比及び人口密度

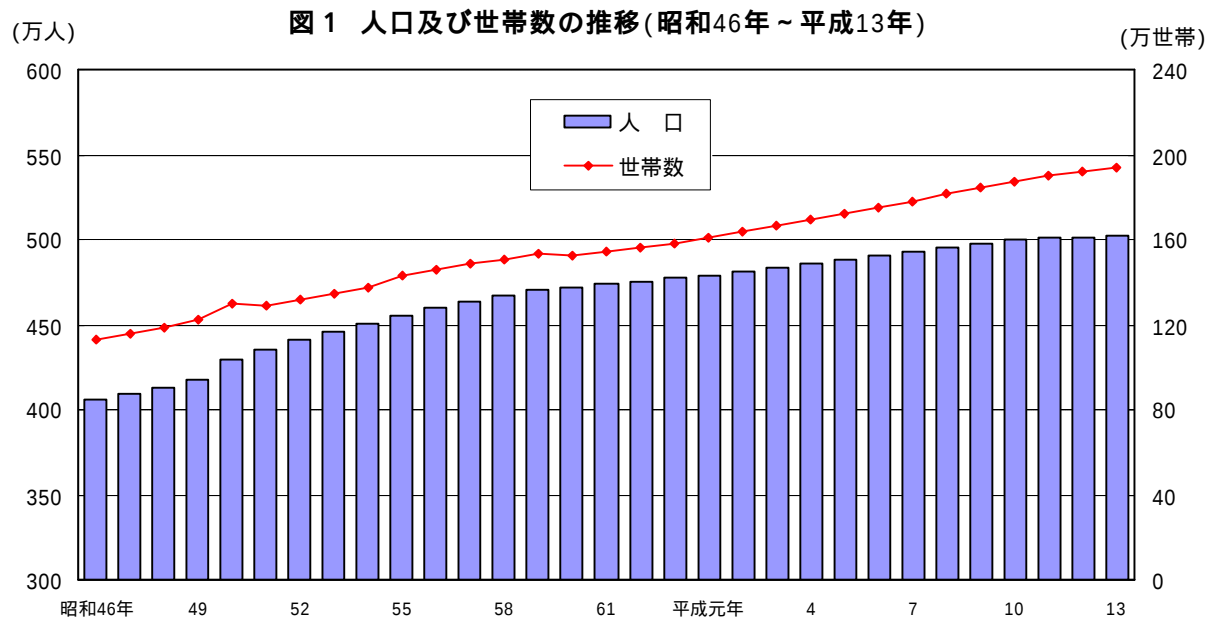
	総人口(人)		構成比(%)		人口密度(人/km ²)		対前年差	
	13年	12年	13年	12年	13年	12年	構成比	人口密度
福岡県	5,028,729	5,015,699	100.00	100.00	1,011.6	1,009.0	-	2.6
(男)	2,392,707	2,388,824	47.58	47.63	-	-	0.05	-
(女)	2,636,022	2,626,875	52.42	52.37	-	-	0.05	-
市 部	3,917,114	3,902,626	77.89	77.81	1,794.0	1,787.4	0.08	6.6
郡 部	1,111,615	1,113,073	22.11	22.19	398.8	399.3	0.08	0.5
福 岡	2,348,460	2,328,007	46.70	46.41	1,531.3	1,517.9	0.29	13.4
北九州	1,348,950	1,352,252	26.82	26.96	1,163.7	1,166.6	0.14	2.9
筑 豊	463,087	465,736	9.21	9.29	470.3	473.0	0.08	2.7
筑 後	868,232	869,704	17.27	17.34	671.2	672.3	0.07	1.1

表2 人口増加数及び人口増加率(前年10月1日～当年9月30日)

	人口増加数(人)		人口増加率(%)		対前年差	
	13年	12年	13年	12年	増加数	増加率
福岡県	13,030	12,460	0.26	0.25	570	0.01
(男)	3,883	4,179	0.16	0.17	296	0.03
(女)	9,147	8,281	0.35	0.32	866	0.03
市 部	14,488	12,310	0.37	0.32	2,178	0.05
郡 部	1,458	150	0.13	0.01	1,608	0.02
福 岡	20,453	18,452	0.88	0.80	2,001	0.08
北九州	3,302	3,201	0.24	0.24	101	0.01
筑 豊	2,649	2,117	0.57	0.45	532	0.12
筑 後	1,472	674	0.17	0.08	798	0.09

表3 平成13年10月1日現在人口による性比

	総人口(人)	男女別人口(人)		性 比
		男	女	
福岡県	5,028,729	2,392,707	2,636,022	90.8
市 部	3,917,114	1,865,686	2,051,428	90.9
郡 部	1,111,615	527,021	584,594	90.2
福 岡	2,348,460	1,132,000	1,216,460	93.1
北九州	1,348,950	637,427	711,523	89.6
筑 豊	463,087	215,044	248,043	86.7
筑 後	868,232	408,236	459,996	88.7



(2) 市部、郡部別人口

総人口に占める割合は市部 77.89%、郡部 22.11%

総人口を市部、郡部別にみると、市部は 3,917,114 人(総人口の 77.89%)、郡部は 1,111,615 人(同 22.11%)となっており、この 1 年間に市部は 14,488 人(0.37%)増加、郡部は 1,458 人(0.13%)減少している。(表 1、表 2)

また、性比は、市部で 90.9、郡部で 90.2 となっている。(表 3)

(3) 地域別人口

総人口の 46.70%を占める福岡地域

総人口を地域別にみると、福岡地域が 2,348,460 人(総人口の 46.70%)で最も多く、以下、北九州地域が 1,348,950 人(同 26.82%)、筑後地域が 868,232 人(同 17.27%)、筑豊地域が 463,087 人(同 9.21%)となっている。(表 1)

この 1 年間に、福岡地域は 20,453 人(0.88%)増加したものの、北九州地域は 3,302 人(0.24%)、筑豊地域は 2,649 人(0.57%)、筑後地域は 1,472 人(0.17%)それぞれ減少している。(表 2)

また、性比をみると、福岡地域は 93.1、北九州地域は 89.6、筑豊地域は 86.7、筑後地域は 88.7 となっている。(表 3)

(4) 市町村別人口

37 市町村で人口増加、59 市町村で人口減少

総人口を市町村別にみると、福岡市が 1,354,304 人(総人口の 26.93%)で最も多く、以下、北九州市が 1,008,657 人(同 20.06%)、久留米市が 237,333 人(同 4.72%)、大牟田市が 137,572 人(同 2.74%)、春日市が 105,894 人(同 2.11%)となっており、この 5 市が 10 万人を超えている。(表 4)

1 年間の人口増加をみると、13 市 23 町 1 村で増加、11 市 42 町 6 村で減少、1 村が増減なしとなっている。最も増加したのは福岡市の 12,834 人で、以下、大野城市が 1,424 人、筑紫野市が 1,193 人となっている。一方、最も減少したのは北九州市の 2,814 人で、以下、大牟田市が 1,057 人、大川市が 534 人となっている。

人口増加率では、小郡市の1.74%が最も高く、以下、粕屋町が1.60%、大野城市が1.59%となっている。一方、最も低いのは星野村の1.88%で、以下、立花町が1.66%、高田町が1.51%となっている。(表4、表6)

また、性比をみると、宇美町が101.6で最も高く、山田市の82.0が最も低くなっている。(表5)

表4 人口及び構成比順位(市町村)
(平成13年10月1日)

順位	市町村	人口 (人)	構成比 (%)
1	福岡市	1,354,304	26.93
2	北九州市	1,008,657	20.06
3	久留米市	237,333	4.72
4	大牟田市	137,572	2.74
5	春日市	105,894	2.11
6	筑紫野市	94,242	1.87
7	大野城市	90,838	1.81
8	宗像市	82,448	1.64
9	飯塚市	80,372	1.60
10	行橋市	69,937	1.39
：	：	：	：
88	山川町	5,641	0.11
89	上陽町	4,166	0.08
90	新吉富村	4,156	0.08
91	大平村	4,154	0.08
92	星野村	3,808	0.08
93	赤村	3,636	0.07
94	矢部村	1,748	0.03
95	宝珠山村	1,705	0.03
96	小石原村	1,203	0.02
97	大島村	906	0.02

表5 性比順位(市町村)(平成13年10月1日)

順位	性比			
	高い市町村		低い市町村	
1	宇美町	101.6	山田市	82.0
2	粕屋町	100.5	川崎町	82.5
3	苅田町	99.9	田川市	83.5
4	那珂川町	97.2	稲築町	83.6
5	春日市	96.7	大牟田市	83.7
6	庄内町	96.4	杷木町	84.1
7	新宮町	94.7	勝山町	84.3
8	大野城市	94.7	大任町	84.6
9	筑紫野市	94.6	宮田町	84.7
10	広川町	94.1	赤村	84.9

表6 人口増加数及び人口増加率順位(市町村)(前年10月1日～当年9月30日)

順位	人口増加数(人)			
	13年		12年	
1	福岡市	12,834	福岡市	9,585
2	大野城市	1,424	筑紫野市	1,610
3	筑紫野市	1,193	春日市	1,334
4	前原市	970	大野城市	1,160
5	小郡市	949	小郡市	1,061
6	宗像市	860	前原市	967
7	久留米市	790	宗像市	867
8	春日市	675	久留米市	758
9	那珂川町	607	篠栗町	616
10	粕屋町	556	夜須町	467
：	：	：	：	：
88	柳川市	255	高田町	238
89	瀬高町	256	黒木町	241
90	中間市	272	小竹町	270
91	鞍手町	276	田川市	324
92	飯塚市	279	大川市	364
93	直方市	319	柳川市	375
94	田川市	401	中間市	411
95	大川市	534	直方市	421
96	大牟田市	1,057	大牟田市	1,079
97	北九州市	2,814	北九州市	3,011

順位	人口増加率(%)			
	13年		12年	
1	小郡市	1.74	夜須町	2.93
2	粕屋町	1.60	篠栗町	2.13
3	大野城市	1.59	小郡市	1.97
4	前原市	1.52	新宮町	1.79
5	那珂川町	1.33	筑紫野市	1.77
6	筑紫野市	1.28	前原市	1.53
7	新吉富村	1.22	久山町	1.42
8	宗像市	1.05	大野城市	1.31
9	福岡市	0.96	春日市	1.28
10	篠栗町	0.85	宗像市	1.07
：	：	：	：	：
88	添田町	1.23	吉富町	1.26
89	大川市	1.29	添田町	1.27
90	黒木町	1.29	築城町	1.29
91	小石原村	1.31	碓井町	1.40
92	上陽町	1.35	犀川町	1.52
93	宝珠山村	1.39	高田町	1.54
94	鞍手町	1.43	黒木町	1.62
95	高田町	1.51	星野村	1.70
96	立花町	1.66	大島村	2.55
97	星野村	1.88	小竹町	2.67

(4) 人口密度

人口密度は、春日市がトップ

本県の1 km²当たりの人口密度は、1,011.6人となっており、市部、郡部別にみると、市部が1,794.0人、郡部が398.8人となっている。

地域別にみると、福岡地域が1,531.3人で最も高く、以下、北九州地域が1,163.7人、筑後地域が671.2人、筑豊地域が470.3人となっており、福岡地域と筑豊地域との差は、3倍を超えている。(表1)

市町村別にみると、春日市が7,483.7人で最も高く、以下、志免町が4,363.0人、福岡市が3,990.5人となっており、最も低いのは矢部村の21.7人で、以下、小石原村が41.0人、星野村が46.9人となっている。(表7)

表7 人口密度順位(市町村)(平成13年10月1日)

順位	人口密度(人/km ²)			
	高い市町村		低い市町村	
1	春日市	7,483.7	矢部村	21.7
2	志免町	4,363.0	小石原村	41.0
3	福岡市	3,990.5	星野村	46.9
4	大野城市	3,379.4	上陽町	70.2
5	中間市	2,988.7	犀川町	75.3
6	水巻町	2,857.3	宝珠山村	75.6
7	粕屋町	2,504.7	大平村	84.8
8	太宰府市	2,242.4	添田町	95.3
9	北九州市	2,082.9	黒木町	107.0
10	久留米市	1,903.5	大島村	111.6

2 年齢別人口構成

一段と進む人口の高齢化

本県人口の平均年齢は41.4歳で、前年(41.1歳)に比べ0.3歳上昇した。

人口を年齢3区分別にみると、年少人口(0～14歳)が732,942人(県人口の14.6%)、生産年齢人口(15～64歳)が3,388,190人(同67.4%)、老年人口(65歳以上)が898,600人(同17.9%)となっている。

この1年間に、年少人口は9,798人(1.3%)、生産年齢人口は4,890人(0.1%)それぞれ減少したが、老年人口は28,310人(3.3%)増加している。(表8、図2)

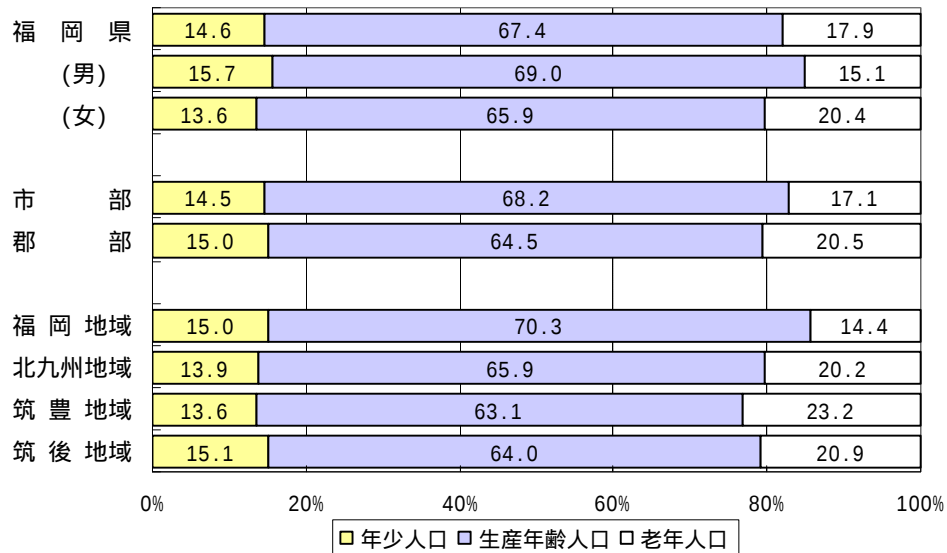
年少人口の減少と老年人口の増加が続いており、さらに平成13年は生産年齢人口が減少に転じた。老年人口割合は平成5年に「高齢社会」とされる14%を超え、平成9年には老年人口が年少人口を上回った。

表8 年齢(3区分)別人口の推移(平成2年～平成13年)

年次		平成13年	平成12年	平成7年	平成2年
人口(人)	総数	5,028,729	5,015,699	4,933,393	4,811,050
	年少人口 (0～14歳)	732,942	742,740	815,170	910,356
	生産年齢人口 (15～64歳)	3,388,190	3,393,080	3,382,470	3,287,878
	老年人口 (65歳以上)	898,600	870,290	728,574	597,869
構成比(%)	年少人口	14.6	14.8	16.5	18.9
	生産年齢人口	67.4	67.6	68.6	68.3
	老年人口	17.9	17.4	14.8	12.4
前年差(人)	年少人口	9,798	-	-	-
	生産年齢人口	4,890	-	-	-
	老年人口	28,310	-	-	-

注) 平成12年以前の数値は国勢調査による。
総数には「年齢不詳」を含む。

図 2 年齢(3区分)別人口割合



老年化指数は 5.4 ポイント上昇

年齢構造指数をみると、従属人口指数は 48.2、年少人口指数は 21.6、老年人口指数は 26.5 となっており、前年に比べて従属人口指数で 0.7 ポイント上昇、年少人口指数で 0.3 ポイント低下、老年人口指数で 0.9 ポイント上昇している。

人口の高齢化の程度を示す指標である老年化指数(年少人口に対する老年人口の比率)は、昭和 25 年の 11.2 から一貫して上昇を続け、平成 13 年では前年より 5.4 ポイント上昇して 122.6 となっている。(表 9)

表 9 年齢構造指数

	従属人口 指 数		年少人口 指 数		老年人口 指 数		老年化 指 数	
	13年	12年	13年	12年	13年	12年	13年	12年
福岡県	48.2	47.5	21.6	21.9	26.5	25.6	122.6	117.2
(男)	44.5	44.1	22.7	23.0	21.8	21.1	96.2	91.9
(女)	51.6	50.8	20.6	20.9	31.0	29.9	150.2	143.6
市 部	46.3	45.7	21.2	21.4	25.1	24.2	118.3	113.1
郡 部	55.0	54.5	23.2	23.6	31.8	30.9	137.2	130.8
福岡	41.8	41.3	21.3	21.5	20.5	19.8	96.2	91.8
北九州	51.6	50.6	21.1	21.2	30.6	29.4	145.3	138.4
筑豊	58.3	57.7	21.6	22.0	36.7	35.7	170.1	161.9
筑後	56.2	55.5	23.6	23.9	32.6	31.6	138.2	132.3

77 市町村で老年人口割合が県平均を超える

市町村別に年齢 3 区分別割合をみると、年少人口割合は那珂川町(19.1%)が最も高く、同町を含む 13 市 31 町 1 村で県平均(14.6%)を上回っている。

生産年齢人口割合は福岡市(71.9%)が最も高く、同市を含む 9 市 10 町で県平均(67.4%)を上回っている。

老年人口割合は、矢部村(39.1%)が最も高く、同村を含む 14 市 55 町 8 村で県平均(17.9%)を上回っている。(表 10)

表10 年齢(3区分)別人口割合順位(市町村)

順位	年少人口割合(%)		生産年齢人口割合(%)		老年人口割合(%)	
1	那珂川町	19.1	福岡市	71.9	矢部村	39.1
2	新宮町	18.4	粕屋町	70.9	星野村	37.0
3	春日市	18.1	春日市	70.5	宝珠山村	35.2
4	大野城市	17.4	宇美町	70.5	大島村	34.7
5	前原市	17.3	大野城市	70.0	小石原村	31.8
6	篠栗町	17.2	筑紫野市	69.8	犀川町	31.1
7	大刀洗町	17.0	太宰府市	69.6	大平村	30.2
8	古賀市	16.9	那珂川町	69.1	添田町	29.6
9	粕屋町	16.9	志免町	69.1	上陽町	28.8
10	小郡市	16.5	須恵町	68.9	黒木町	28.5
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
88	山田市	12.8	朝倉町	58.6	志免町	14.6
89	高田町	12.6	添田町	58.1	筑紫野市	14.1
90	宝珠山村	12.6	犀川町	57.6	古賀市	14.1
91	嘉穂町	12.6	黒木町	56.9	宇美町	13.8
92	上陽町	12.4	大平村	56.5	福岡市	13.7
93	庄内町	12.4	小石原村	54.4	新宮町	13.2
94	添田町	12.4	宝珠山村	52.1	大野城市	12.6
95	小竹町	12.2	大島村	51.9	粕屋町	12.2
96	犀川町	11.3	矢部村	49.7	那珂川町	11.5
97	矢部村	11.3	星野村	48.3	春日市	11.0

3 世帯数の動向

総世帯数は1,942,254世帯、この1年間に24,533世帯増加

平成13年10月1日現在の総世帯数は、1,942,254世帯で、この1年間に24,533世帯(1.28%)増加している。

1世帯当たり人員は2.59人となっており、前年に比べ、0.03人減少している。(表11)

市町村別にみると、福岡市が609,815世帯(総世帯数の31.40%)で最も多く、以下、北九州市が411,305世帯(同21.18%)、久留米市が90,112世帯(同4.64%)となっている。

1世帯当たり人員をみると、最も多いのは朝倉町の3.90人で、以下、田主丸町が3.70人、大刀洗町が3.67人と続き、これらを含む88市町村で県平均を上回っている。一方、最も少ないのは、福岡市の2.22人で、同市と朝倉町の差は1.68人となっている。(表12)

表11 10月1日現在世帯数及び1世帯当たり人員

	世帯数 (世帯)		1世帯当たり 人員(人)	
	13年	12年	13年	12年
福岡県	1,942,254	1,917,721	2.59	2.62
市部	1,576,420	1,556,095	2.48	2.51
郡部	365,834	361,626	3.04	3.08
福岡	951,623	935,648	2.47	2.49
北九州	532,974	528,501	2.53	2.56
筑豊	171,281	169,999	2.70	2.74
筑後	286,376	283,573	3.03	3.07

表12 世帯数及び1世帯当たり人員順位(市町村)
(平成13年10月1日)

順位	世帯数 (世帯)		1世帯当たり人員 (人)	
1	福岡市	609,815	朝倉町	3.90
2	北九州市	411,305	田主丸町	3.70
3	久留米市	90,112	大刀洗町	3.67
4	大牟田市	51,173	志摩町	3.66
5	春日市	39,730	立花町	3.63
6	大野城市	34,016	黒木町	3.63
7	筑紫野市	33,183	大木町	3.58
8	飯塚市	31,627	城島町	3.58
9	宗像市	29,765	大和町	3.57
10	行橋市	25,006	浮羽町	3.55
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
88	山川町	1,609	糸田町	2.61
89	新吉富村	1,387	山田市	2.55
90	大平村	1,367	田川市	2.55
91	上陽町	1,183	苅田町	2.55
92	赤村	1,182	飯塚市	2.54
93	星野村	1,134	川崎町	2.54
94	矢部村	600	庄内町	2.52
95	宝珠山村	499	北九州市	2.45
96	大島村	374	大島村	2.42
97	小石原村	355	福岡市	2.22

第2 人口動態

1 人口増加

この1年間に13,030人(0.26%)増加

この1年間(平成12年10月1日～13年9月30日)に、総人口は13,030人(0.26%)増加しており、その内訳は、自然増加が8,853人(0.18%)増、社会増加が4,177人(0.08%)増となっている。

(表13、表14、図3)

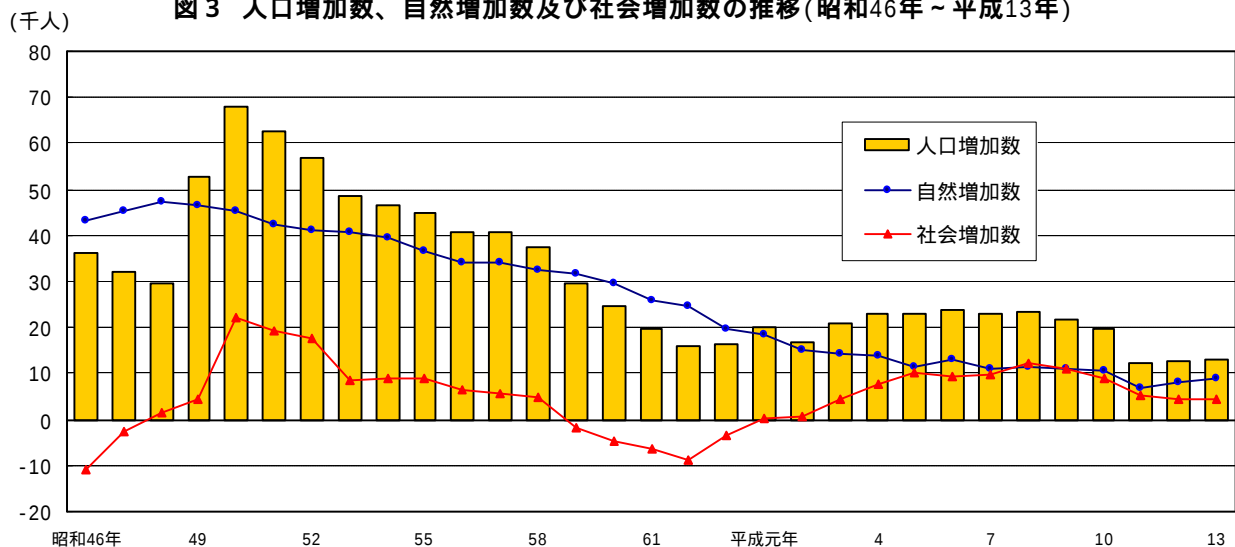
表13 人口増加数、自然増加数及び社会増加数(前年10月1日～当年9月30日)

	人口増加数(人)		自然増加数(人)		社会増加数(人)	
	13年	12年	13年	12年	13年	12年
福岡県	13,030	12,460	8,853	8,049	4,177	4,411
(男)	3,883	4,179	3,775	3,363	108	816
(女)	9,147	8,281	5,078	4,686	4,069	3,595
市 部	14,488	12,310	8,968	8,494	5,520	3,816
郡 部	1,458	150	115	445	1,343	595
福 岡	20,453	18,452	9,317	8,826	11,136	9,626
北九州	3,302	3,201	431	10	3,733	3,211
筑 豊	2,649	2,117	1,066	1,075	1,583	1,042
筑 後	1,472	674	171	288	1,643	962

表14 人口増加率、自然増加率及び社会増加率(前年10月1日～当年9月30日)

	人口増加率(%)		自然増加率(%)		社会増加率(%)	
	13年	12年	13年	12年	13年	12年
福岡県	0.26	0.25	0.18	0.16	0.08	0.09
(男)	0.16	0.17	0.16	0.14	0.00	0.03
(女)	0.35	0.32	0.19	0.18	0.15	0.14
市 部	0.37	0.32	0.23	0.22	0.14	0.10
郡 部	0.13	0.01	0.01	0.04	0.12	0.05
福 岡	0.88	0.80	0.40	0.38	0.48	0.42
北九州	0.24	0.24	0.03	0.00	0.28	0.24
筑 豊	0.57	0.45	0.23	0.23	0.34	0.22
筑 後	0.17	0.08	0.02	0.03	0.19	0.11

図3 人口増加数、自然増加数及び社会増加数の推移(昭和46年～平成13年)



目立つ3月の人口減少、4月の人口増加

総人口の動きを月別にみると、1月～3月は減少し、他の月は増加している。各年とも、転勤、就職、進学等の重なる4月(平成13年4月中は16,202人増)の動きが、他に比べ特に大きくなっている。(表15)

表15 月別人口増減数の推移(平成9年～平成13年)

年次	1月中	2月中	3月中	4月中	5月中	6月中	7月中	8月中	9月中	10月中	11月中	12月中	総数
平成9年	224	258	12,405	17,621	2,525	1,961	1,950	2,607	1,680	2,717	1,724	1,347	21,245
10	46	399	12,576	16,359	2,168	1,695	2,120	2,837	1,584	1,595	1,182	1,050	17,661
11	1,810	1,079	12,460	14,669	2,167	1,557	1,339	3,247	745	1,364	1,510	940	12,189
12	786	1,488	12,416	14,999	2,492	1,163	1,540	2,489	653	1,987	2,018	851	13,502
13	499	355	14,631	16,202	2,141	818	843	2,907	748	-	-	-	-

2 自然増加

この1年間に8,853人(0.18%)増加

この1年間の自然増加数は8,853人(出生者47,253人、死亡者38,400人)で、自然増加率は0.18%であった。

地域別にみると、福岡地域は9,317人(0.40%)、北九州地域は431人(0.03%)、筑後地域は171人(0.02%)増加しているが、筑豊地域は1,066人(0.23%)減少している。(表16、表17)

市町村別に自然増加数をみると、福岡市の5,375人が最も多く、以下、久留米市が911人、春日市が764人となっている。また、最も少ないのは大牟田市の540人で、以下、田川が137人、直方市が120人となっている。

自然増加率では那珂川町の1.04%が最も高く、以下、粕屋町が0.99%、大野城市が0.78%となっており、最も低いのは宝珠山村の1.16%で、以下、犀川町が0.91%、小石原村が0.82%となっている。(表18)

表16 自然増加数及び出生・死亡者数(前年10月1日～当年9月30日)

	自然増加数(人)		出生者数(人)		死亡者数(人)	
	13年	12年	13年	12年	13年	12年
福岡県	8,853	8,049	47,253	47,006	38,400	38,957
(男)	3,775	3,363	24,275	24,183	20,500	20,820
(女)	5,078	4,686	22,978	22,823	17,900	18,137
市部	8,968	8,494	37,443	37,291	28,475	28,797
郡部	115	445	9,810	9,715	9,925	10,160
福岡	9,317	8,826	23,656	23,311	14,339	14,485
北九州	431	10	12,007	11,905	11,576	11,895
筑豊	1,066	1,075	3,767	3,840	4,833	4,915
筑後	171	288	7,823	7,950	7,652	7,662

表17 自然増加率及び出生・死亡率(前年10月1日～当年9月30日)

	自然増加率(%)		出生率(‰)		死亡率(‰)	
	13年	12年	13年	12年	13年	12年
福岡県	0.18	0.16	9.42	9.38	7.66	7.77
(男)	0.16	0.14	10.16	10.12	8.58	8.71
(女)	0.19	0.18	8.75	8.71	6.81	6.92
市部	0.23	0.22	9.59	9.58	7.30	7.40
郡部	0.01	0.04	8.81	8.69	8.92	9.09
福岡	0.40	0.38	10.16	10.09	6.16	6.27
北九州	0.03	0.00	8.88	8.79	8.56	8.78
筑豊	0.23	0.23	8.09	8.14	10.38	10.42
筑後	0.02	0.03	9.00	9.10	8.80	8.77

表18 自然増加数及び自然増加率順位(市町村)(前年10月1日～当年9月30日)

順位	自然増加数(人)				順位	自然増加率(%)			
	13年		12年			13年		12年	
1	福岡市	5,375	福岡市	5,111	1	那珂川町	1.04	粕屋町	0.99
2	久留米市	911	久留米市	1,094	2	粕屋町	0.99	那珂川町	0.85
3	春日市	764	春日市	865	3	大野城市	0.78	春日市	0.83
4	大野城市	700	大野城市	681	4	春日市	0.73	新宮町	0.78
5	北九州市	559	筑紫野市	407	5	新宮町	0.67	大野城市	0.77
6	那珂川町	472	那珂川町	390	6	篠栗町	0.64	篠栗町	0.55
7	筑紫野市	411	粕屋町	341	7	志免町	0.53	苅田町	0.52
8	粕屋町	344	北九州市	333	8	筑紫野市	0.44	久留米市	0.46
9	前原市	271	前原市	280	9	苅田町	0.44	筑紫野市	0.45
10	古賀市	238	苅田町	183	10	古賀市	0.43	前原市	0.44
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
88	瀬高町	71	川崎町	72	88	糸田町	0.65	糸田町	0.56
89	豊前市	74	瀬高町	73	89	嘉穂町	0.66	朝倉町	0.61
90	岡垣町	77	直方市	74	90	高田町	0.68	嘉穂町	0.63
91	鞍手町	85	宮田町	83	91	星野村	0.75	上陽町	0.66
92	柳川市	96	鞍手町	88	92	添田町	0.75	添田町	0.74
93	添田町	96	添田町	97	93	矢部村	0.80	星野村	0.87
94	高田町	103	柳川市	103	94	上陽町	0.81	大平村	0.90
95	直方市	120	田川市	108	95	小石原村	0.82	犀川町	0.92
96	田川市	137	中間市	129	96	犀川町	0.91	大島村	1.11
97	大牟田市	540	大牟田市	476	97	宝珠山村	1.16	宝珠山村	1.39

出生者・死亡者

この1年間の出生者数は47,253人(出生率9.42‰)で、死亡者数は38,400人(死亡率7.66‰)であった。前年(11年10月1日～12年9月30日)と比べると、出生者数は247人増加し、死亡者数は557人減少している。

男女別にみると、出生者数は男性が24,275人、女性が22,978人で、男性が女性より1,297人多く、出生性比は105.6となっている。死亡者数は男性が20,500人、女性が17,900人で、男性が女性より2,600人多く、死亡性比は114.5となっている。(表16、表17)

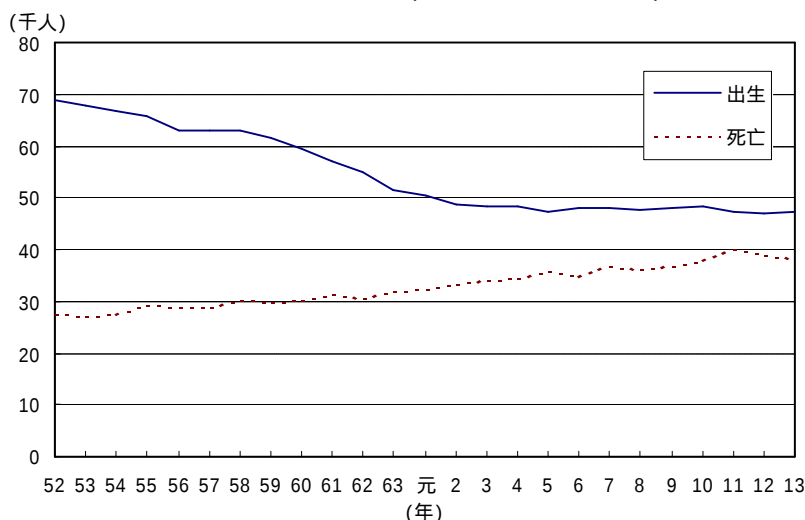
市町村別にみると、出生率は粕屋町の15.48‰が最も高く、小石原村の2.46‰が最も低い。死亡率は矢部村の17.61‰が最も高く、春日市の4.60‰が最も低い。(表19)

出生者数と死亡者数を月別にみると、出生者は年間を通して変動は少ないが、死亡者は1月が最も多く、夏期は少なくなっている。(図4)

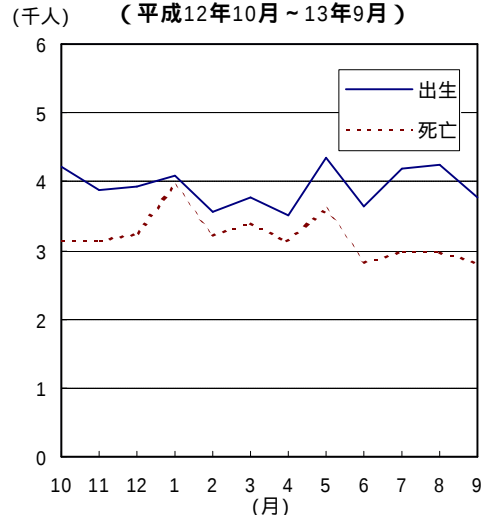
表19 出生・死亡率順位(市町村)(前年10月1日～当年9月30日)

順位	出 生 率 (‰)				順位	死 亡 率 (‰)			
	13年		12年			13年		12年	
1	粕 屋 町	15.48	粕 屋 町	16.50	1	矢 部 村	17.61	宝珠山村	19.12
2	那珂川町	15.28	那珂川町	13.20	2	宝珠山村	15.62	大 島 村	15.52
3	吉 富 町	13.36	新 宮 町	13.11	3	星 野 村	14.94	大 平 村	15.13
4	大野城市	12.91	春 日 市	13.04	4	犀 川 町	14.66	星 野 村	14.92
5	篠 栗 町	12.83	大野城市	12.42	5	添 田 町	14.59	犀 川 町	14.33
6	新 宮 町	12.35	篠 栗 町	12.22	6	糸 田 町	13.56	新吉富村	13.43
7	志 免 町	12.30	三 橋 町	11.59	7	杷 木 町	13.18	糸 田 町	13.43
8	春 日 市	11.86	久留米市	11.53	8	高 田 町	12.40	添 田 町	13.41
9	芦 屋 町	11.69	苅 田 町	11.48	9	山 田 市	12.32	矢 部 村	13.38
10	苅 田 町	11.26	前 原 市	11.43	10	上 陽 町	12.31	川 崎 町	12.47
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
88	玄 海 町	5.65	若 宮 町	5.96	88	小 郡 市	6.39	太宰府市	6.60
89	高 田 町	5.57	嘉 穂 町	5.54	89	筑紫野市	6.29	宗 像 市	6.50
90	犀 川 町	5.52	黒 木 町	5.50	90	宇 美 町	6.27	苅 田 町	6.30
91	嘉 穂 町	5.41	玄 海 町	5.40	91	福 岡 市	5.89	古 賀 市	6.27
92	二 丈 町	5.30	朝 倉 町	5.38	92	新 宮 町	5.62	筑紫野市	6.07
93	立 花 町	5.11	宝珠山村	5.21	93	粕 屋 町	5.60	福 岡 市	5.99
94	大 平 村	4.53	上 陽 町	5.20	94	古 賀 市	5.34	新 宮 町	5.26
95	上 陽 町	4.26	犀 川 町	5.08	95	大野城市	5.08	春 日 市	4.76
96	宝珠山村	4.05	高 田 町	4.86	96	那珂川町	4.92	大野城市	4.74
97	小石原村	2.46	大 島 村	4.43	97	春 日 市	4.60	那珂川町	4.68

図4 自然増加数の推移(昭和52年～平成13年)



月次推移
(平成12年10月～13年9月)



3 社会増加

この1年間に4,177人(0.08%)増加、社会増加は福岡地域のみ

この1年間の社会増加数は4,177人(転入者314,739人、転出者310,562人)で、社会増加率は0.08%であった。

地域別にみると、福岡地域は11,136人(0.48%)増加しているが、北九州地域は3,733人(0.28%)、筑豊地域は1,583人(0.34%)、筑後地域は1,643人(0.19%)減少している。(表20、表21)

市町村別に社会増加数をみると、福岡市の7,459人が最も多く、以下、筑紫野市が782人、宗像市が749人となっており、最も少ないのは、北九州市の3,373人で、以下、大牟田市が517人、大川市が490人となっている。

社会増加率では、新吉富村の1.61%が最も高く、以下、小郡市が1.37%、前原市が1.09%となっており、最も低いのは大川市の1.19%で、以下、星野村が1.13%、立花町が1.13%となっている。(表22)

表20 社会増加数及び転入・転出者数(前年10月1日～当年9月30日)

	社会増加数(人)		転入者数(人)		転出者数(人)	
	13年	12年	13年	12年	13年	12年
福岡県	4,177	4,411	314,739	311,645	310,562	307,234
(男)	108	816	163,265	162,255	163,157	161,439
(女)	4,069	3,595	151,474	149,390	147,405	145,795
市 部	5,520	3,816	261,332	257,518	255,812	253,702
郡 部	1,343	595	53,407	54,127	54,750	53,532
福 岡	11,136	9,626	187,079	183,880	175,943	174,254
北九州	3,733	3,211	70,857	70,389	74,590	73,600
筑 豊	1,583	1,042	19,929	20,285	21,512	21,327
筑 後	1,643	962	36,874	37,091	38,517	38,053

表21 社会増加率及び転入・転出率(前年10月1日～当年9月30日)

	社会増加率(%)		転入率(%)		転出率(%)	
	13年	12年	13年	12年	13年	12年
福岡県	0.08	0.09	6.28	6.22	6.19	6.13
(男)	0.00	0.03	6.83	6.79	6.83	6.76
(女)	0.15	0.14	5.77	5.70	5.61	5.56
市 部	0.14	0.10	6.70	6.62	6.55	6.52
郡 部	0.12	0.05	4.80	4.84	4.92	4.79
福 岡	0.48	0.42	8.04	7.96	7.56	7.54
北九州	0.28	0.24	5.24	5.20	5.52	5.44
筑 豊	0.34	0.22	4.28	4.30	4.62	4.52
筑 後	0.19	0.11	4.24	4.25	4.43	4.36

表22 社会増加数及び社会増加率順位(市町村)(前年10月1日～当年9月30日)

順位	社会増加数(人)				順位	社会増加率(%)			
	13年		12年			13年		12年	
1	福岡市	7,459	福岡市	4,474	1	新吉富村	1.61	夜須町	2.86
2	筑紫野市	782	筑紫野市	1,203	2	小郡市	1.37	宝珠山村	1.80
3	宗像市	749	小郡市	966	3	前原市	1.09	小郡市	1.79
4	小郡市	748	宗像市	731	4	宗像市	0.92	篠栗町	1.58
5	大野城市	724	前原市	687	5	筑紫野市	0.84	久山町	1.47
6	前原市	699	大野城市	479	6	大野城市	0.81	筑紫野市	1.32
7	岡垣町	225	春日市	469	7	岡垣町	0.74	新吉富村	1.15
8	古賀市	214	篠栗町	457	8	三潆町	0.67	前原市	1.09
9	粕屋町	212	夜須町	456	9	粕屋町	0.61	新宮町	1.01
10	那珂川町	135	行橋市	407	10	久山町	0.60	岡垣町	0.94
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
88	鞍手町	191	田川市	216	88	城島町	0.80	築城町	0.80
89	三橋町	198	小竹町	232	89	高田町	0.83	星野村	0.82
90	直方市	199	柳川市	272	90	苅田町	0.94	勝山町	1.01
91	中間市	217	中間市	282	91	黒木町	0.97	碓井町	1.06
92	田川市	264	那珂川町	324	92	鞍手町	0.99	高田町	1.10
93	飯塚市	300	大川市	331	93	碓井町	1.00	穎田町	1.12
94	苅田町	333	久留米市	336	94	三橋町	1.07	吉富町	1.14
95	大川市	490	直方市	347	95	立花町	1.13	黒木町	1.19
96	大牟田市	517	大牟田市	603	96	星野村	1.13	大島村	1.44
97	北九州市	3,373	北九州市	3,344	97	大川市	1.19	小竹町	2.29

転入者・転出者

この1年間の転入者は314,739人(転入率6.28%)、転出者は310,562人(転出率6.19%)で、前年に比べ、転入者は3,094人、転出者は3,328人それぞれ増加している。

転入者及び転出者を男女別にみると、転入者は男性163,265人(転入率6.83%)、女性151,474人(同5.77%)、転出者は男性163,157人(転出率6.83%)、女性147,405人(同5.61%)となっている。

(表20、表21、図5)

また、市町村別にみると、転入者数、転出者数とも福岡市がそれぞれ122,542人、117,947人と最も多く、最も少ないのは転入者数では小石原村の23人、転出者数では大島村の17人となっている。

転入率、転出率とも芦屋町がそれぞれ10.53%、10.74%と最も高く、最も低いのは転入率では小石原村の1.89%、転出率では矢部村の2.22%となっている。(表23、表24)

表23 転入・転出者数順位(市町村)(前年10月1日～当年9月30日)

順 位	転 入 者 数 (人)				順 位	転 出 者 数 (人)			
	13年		12年			13年		12年	
1	福 岡 市	122,542	福 岡 市	117,947	1	福 岡 市	115,083	福 岡 市	113,473
2	北九州市	54,622	北九州市	54,143	2	北九州市	57,995	北九州市	57,487
3	久留米市	13,507	久留米市	13,455	3	久留米市	13,628	久留米市	13,791
4	春日市	9,117	春日市	9,573	4	春日市	9,206	春日市	9,104
5	大野城市	7,698	大野城市	7,658	5	大野城市	6,974	大野城市	7,179
6	筑紫野市	6,559	筑紫野市	6,933	6	筑紫野市	5,777	筑紫野市	5,730
7	宗 像 市	4,765	大牟田市	4,716	7	大牟田市	5,127	大牟田市	5,319
8	太宰府市	4,750	太宰府市	4,702	8	太宰府市	4,684	太宰府市	4,862
9	大牟田市	4,610	宗 像 市	4,543	9	飯 塚 市	4,394	飯 塚 市	4,274
10	飯 塚 市	4,094	飯 塚 市	4,292	10	宗 像 市	4,016	宗 像 市	3,812
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
88	新吉富村	211	新吉富村	212	88	山 川 町	192	山 川 町	178
89	赤 村	165	山 川 町	174	89	星 野 村	155	新吉富村	165
90	山 川 町	152	大 平 村	172	90	上 陽 町	153	大 平 村	150
91	上 陽 町	130	赤 村	136	91	赤 村	151	赤 村	137
92	大 平 村	120	上 陽 町	105	92	新吉富村	145	星 野 村	129
93	星 野 村	111	宝珠山村	99	93	大 平 村	136	上 陽 町	120
94	宝珠山村	52	星 野 村	97	94	宝珠山村	56	宝珠山村	68
95	矢 部 村	41	矢 部 村	57	95	矢 部 村	39	矢 部 村	65
96	大 島 村	28	小石原村	39	96	小石原村	29	小石原村	42
97	小石原村	23	大 島 村	17	97	大 島 村	28	大 島 村	30

表24 転入・転出率順位(市町村)(前年10月1日～当年9月30日)

順位	転 入 率 (%)				順位	転 出 率 (%)			
	13年		12年			13年		12年	
1	芦屋町	10.53	春日市	9.16	1	芦屋町	10.74	芦屋町	8.85
2	福岡市	9.13	芦屋町	9.01	2	春日市	8.75	春日市	8.71
3	春日市	8.66	福岡市	8.87	3	福岡市	8.58	福岡市	8.53
4	大野城市	8.61	大野城市	8.63	4	粕屋町	7.94	粕屋町	8.31
5	粕屋町	8.55	新宮町	8.35	5	大野城市	7.80	大野城市	8.09
6	那珂川町	7.63	粕屋町	8.34	6	新宮町	7.78	那珂川町	7.94
7	新宮町	7.61	筑紫野市	7.63	7	那珂川町	7.33	新宮町	7.34
8	太宰府市	7.19	篠栗町	7.28	8	太宰府市	7.09	太宰府市	7.30
9	筑紫野市	7.05	夜須町	7.27	9	志免町	6.98	志免町	7.03
10	志免町	6.88	那珂川町	7.23	10	苅田町	6.34	小竹町	6.88
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
88	添田町	2.83	田主丸町	2.82	88	添田町	3.31	島村	3.33
89	大川市	2.81	瀬高町	2.80	89	大平村	3.25	星野村	3.32
90	田主丸町	2.78	朝倉町	2.68	90	宝珠山村	3.24	瀬高町	3.23
91	山川町	2.66	大和町	2.63	91	若宮町	3.20	大和町	3.10
92	高田町	2.59	星野村	2.49	92	黒木町	3.08	山川町	3.09
93	朝倉町	2.40	上陽町	2.48	93	大島村	3.08	黒木町	3.04
94	矢部村	2.33	高田町	2.30	94	田主丸町	3.05	朝倉町	3.04
95	立花町	2.23	立花町	2.23	95	朝倉町	2.89	田主丸町	2.96
96	黒木町	2.12	大島村	1.88	96	小石原村	2.38	上陽町	2.83
97	小石原村	1.89	黒木町	1.86	97	矢部村	2.22	立花町	2.82

図5 社会増加数の推移(昭和52年～平成13年)

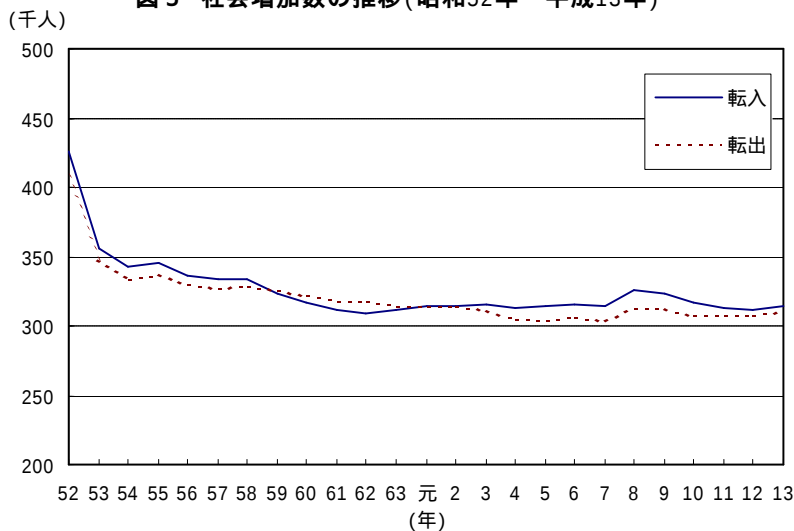
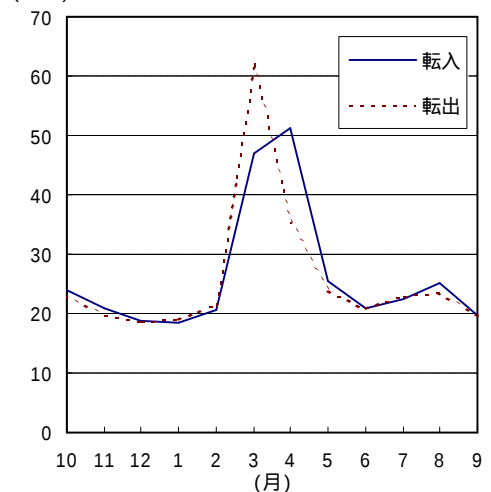


図6 月次推移
(平成12年10月～13年9月)



4 移動者の状況

移動者数は 432,980 人、移動率は 8.63%

この1年間の総移動数(転入者と転出者の合計)は、625,301人(転入者 314,739人、転出者 310,562人)であった。このうち、県内移動者(県内各市町村からの転入者)は 181,348人、県外移動者(県外からの転入者と県外への転出者の合計)は 251,632人で、これらを合わせた移動者数は 432,980人、移動率は 8.63%となっている。(表 20、表 25)

移動者数を年齢(5歳階級)別にみると、20～24歳の 86,322人(構成比 19.9%)が最も多く、以下、25～29歳の 82,157人(同 19.0%)、30～34歳の 52,000人(同 12.0%)の順となっている。(表 26)

県内移動

この1年間の県内移動者数は181,348人で、移動者の41.9%を占めている。(表25)

年齢(5歳階級)別にみると、25～29歳の38,189人(構成比21.1%)が最も多く、以下、20～24歳の30,331人(同16.7%)と続き、20歳代が県内移動の主体となっている。また、30～34歳(23,094人、同12.7%)や、これらの年齢層に付随して移動している0～4歳(15,383人、同8.5%)の移動も多い。(表26、図6)

表25 県内・県外移動者数の推移(昭和51年～平成13年)

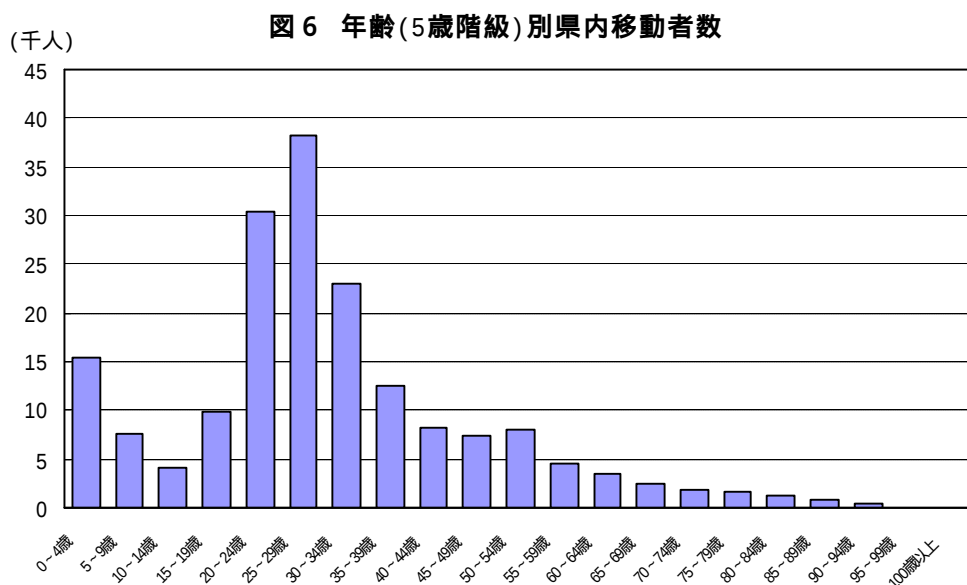
年次	移動者(人)	移動者(人)		
		県内移動	県外転入	県外転出
昭和51年	477,666	210,096	143,214	124,356
52	480,661	207,846	144,829	127,986
53	469,118	205,360	135,636	128,122
54	467,057	205,677	134,457	126,923
55	477,522	215,658	136,423	125,441
56	460,189	200,519	133,098	126,572
57	458,883	200,439	131,379	127,065
58	457,862	203,781	128,820	125,261
59	448,188	196,819	124,906	126,463
60	442,171	192,808	122,323	127,040
61	435,819	188,064	120,746	127,009
62	435,632	187,406	119,663	128,563
63	429,937	187,799	119,699	122,439
平成元年	431,654	187,975	122,807	120,872
2	429,787	187,349	122,023	120,415
3	432,155	186,133	125,427	120,595
4	429,135	181,499	128,356	119,280
5	424,459	184,634	125,833	113,992
6	423,634	189,814	122,310	111,510
7	422,317	187,705	123,166	111,446
8	439,048	189,087	130,480	119,481
9	439,925	186,203	131,321	122,401
10	435,763	179,082	132,289	124,392
11	430,065	179,414	127,340	123,311
12	428,730	178,897	126,696	123,137
13	432,980	181,348	127,573	124,059

注) 平成7年以前の数値は総務省統計局「住民基本台帳人口移動報告」によるため、外国人を含まない。

表26 年齢(5歳階級)別移動者数(前年10月1日～当年9月30日)

年齢階級	移 動 者				転 入 者			転 出 者		
	総 数	構成比(%)	県内移動	県外移動	総 数	県 内	県 外	総 数	県 内	県 外
総 数	432,980	100.0	181,348	251,632	314,739	181,348	127,573	310,562	182,196	124,059
0～4	32,651	7.5	15,383	17,268	24,314	15,383	8,590	24,311	15,450	8,678
5～9	18,642	4.3	7,501	11,141	13,444	7,501	5,755	13,003	7,522	5,386
10～14	10,838	2.5	4,165	6,673	7,924	4,165	3,589	7,391	4,188	3,084
15～19	33,280	7.7	9,869	23,411	23,632	9,869	13,346	20,249	9,977	10,065
20～24	86,322	19.9	30,331	55,991	58,546	30,331	27,383	59,626	30,598	28,608
25～29	82,157	19.0	38,189	43,968	60,332	38,189	21,430	61,311	38,298	22,538
30～34	52,000	12.0	23,094	28,906	37,795	23,094	14,173	38,314	23,181	14,733
35～39	30,977	7.2	12,489	18,488	22,251	12,489	9,372	21,966	12,504	9,116
40～44	20,085	4.6	8,308	11,777	14,831	8,308	6,157	14,308	8,332	5,620
45～49	16,532	3.8	7,318	9,214	12,516	7,318	4,782	12,262	7,369	4,432
50～54	17,870	4.1	7,995	9,875	13,660	7,995	5,148	13,229	8,023	4,727
55～59	9,998	2.3	4,575	5,423	7,734	4,575	2,887	7,387	4,588	2,536
60～64	6,732	1.6	3,498	3,234	5,550	3,498	1,816	5,098	3,495	1,418
65～69	4,356	1.0	2,542	1,814	3,662	2,542	980	3,514	2,540	834
70～74	3,264	0.8	1,881	1,383	2,639	1,881	661	2,672	1,891	722
75～79	2,763	0.6	1,557	1,206	2,202	1,557	584	2,223	1,566	622
80～84	2,187	0.5	1,247	940	1,763	1,247	469	1,755	1,263	471
85～89	1,564	0.4	900	664	1,253	900	324	1,257	906	340
90～94	615	0.1	397	218	528	397	110	517	397	108
95～99	118	0.0	87	31	109	87	16	109	87	15
100歳以上	24	0.0	22	2	23	22	-	26	21	2
不 詳	17	0.0	-	5	31	-	1	34	-	4

注) 転入者及び転出者の総数には、新旧住所地不明者及び職権記載者、消除者を含む。



県内移動者を地域別にみると、福岡地域への転入者は 104,572 人、北九州地域へは 43,045 人、筑豊地域へは 14,176 人、筑後地域へは 19,555 人となっており、県内移動者の 57.7%が福岡地域へ転入している。

福岡地域からの県内移動者の 84.2%が同地域内への移動である。また、筑後地域からは 36.0%、筑豊地域からは 22.5%、北九州地域からは 20.6%が福岡地域へ移動している。

筑豊地域から北九州地域へは 16.6%移動しており、福岡地域への移動を除き、他の地域間移動の中では目立っている。(表 27)

表27 県内地域間移動

		移動先住所地別県内移動者数(人)					移動先住所地別割合(%)				
		県 計	福 岡 地 域	北九州 地 域	筑 豊 地 域	筑 後 地 域	県 計	福 岡 地 域	北九州 地 域	筑 豊 地 域	筑 後 地 域
従 前 住 所 地	県 計	181,348	104,572	43,045	14,176	19,555	100.0	57.7	23.7	7.8	10.8
	福 岡地域	100,242	84,450	6,881	2,504	6,407	100.0	84.2	6.9	2.5	6.4
	北九州地域	45,154	9,288	32,553	2,232	1,081	100.0	20.6	72.1	4.9	2.4
	筑 豊地域	15,543	3,496	2,581	9,051	415	100.0	22.5	16.6	58.2	2.7
	筑 後地域	20,409	7,338	1,030	389	11,652	100.0	36.0	5.0	1.9	57.1

注) 表側の地域から、表頭の地域への転入者。

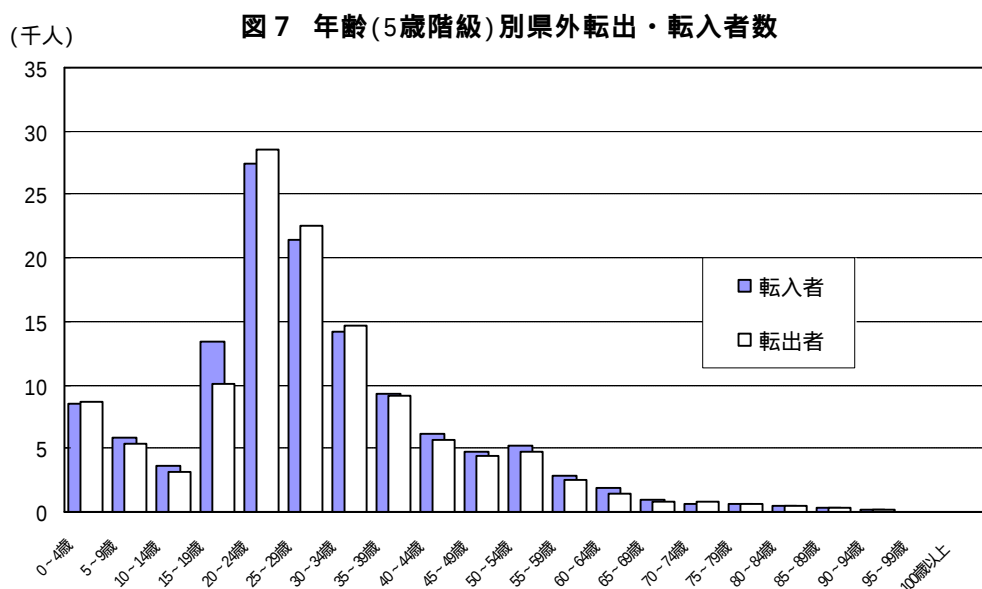
県外移動

この 1 年間の県外移動者数(国外への転出入を含む)は 251,632 人で、移動者の 58.1%を占めている。

このうち、転入者が 127,573 人、転出者が 124,059 人で、3,514 人の転入超過となっている。(表 25、表 28)

年齢(5 歳階級)別にみると、20~24 歳の 55,991 人(構成比 22.3%)が最も多く、以下、25~29 歳の 43,968 人(同 17.5%)、30~34 歳の 28,906 人(同 11.5%)の順となっている。

移動者の多い 20 歳代から 30 歳代前半では、転出者が転入者をわずかに上回る転出超過となっており、また、これらの年齢層に付随して移動している 0~4 歳においても転出超過となっている。(表 26、図 7)



(都道府県別県外転入・県外転出)

他都道府県及び国外からの転入者は127,573人で、前年(126,696人)に比べ877人増加しており、このうち、九州・沖縄各県からの転入者が54,455人で、県外転入者の42.7%を占めている。

最も多いのは長崎県からの12,013人(県外転入者の9.4%)で、以下、熊本県10,877人(同8.5%)、国外9,993人(同7.8%)の順となっている。(表25、表28、表29、図8、図9)

他都道府県及び国外への転出者は124,059人で、前年(123,137人)に比べ922人増加しており、このうち、九州・沖縄各県への転出者が46,814人で、県外転出者の37.7%を占めている。

最も多いのは東京都への12,632人(県外転出者の10.2%)で、以下、熊本県10,073人(8.1%)、長崎県9,178人(7.4%)の順となっている。また、国外への転出者は8,010人で、県外転出者の6.5%を占めている。(表25、表28、図8、表30、図10)

表28 従前・転出先の住所地別転入(転出)超過数順位
(前年10月1日～当年9月30日)

順位	従前・転出先の住所地	転入・転出超過数(人)	転入者数(人)	転出者数(人)
-	県外計	3,514	127,573	124,059
1	長崎県	2,835	12,013	9,178
2	国外	1,983	9,993	8,010
3	鹿児島県	1,352	7,266	5,914
4	山口県	1,162	6,244	5,082
5	佐賀県	910	9,045	8,135
6	宮崎県	895	4,965	4,070
7	熊本県	804	10,877	10,073
8	大分県	730	8,056	7,326
9	広島県	410	4,744	4,334
10	北海道	161	1,568	1,407
・	・	・	・	・
45	千葉県	728	3,920	4,648
46	神奈川県	1,735	5,380	7,115
47	東京都	3,664	8,968	12,632

注) マイナス値は転出超過。

図8 従前及び転出先の住所地(都道府県、国外)別転出・転入者数

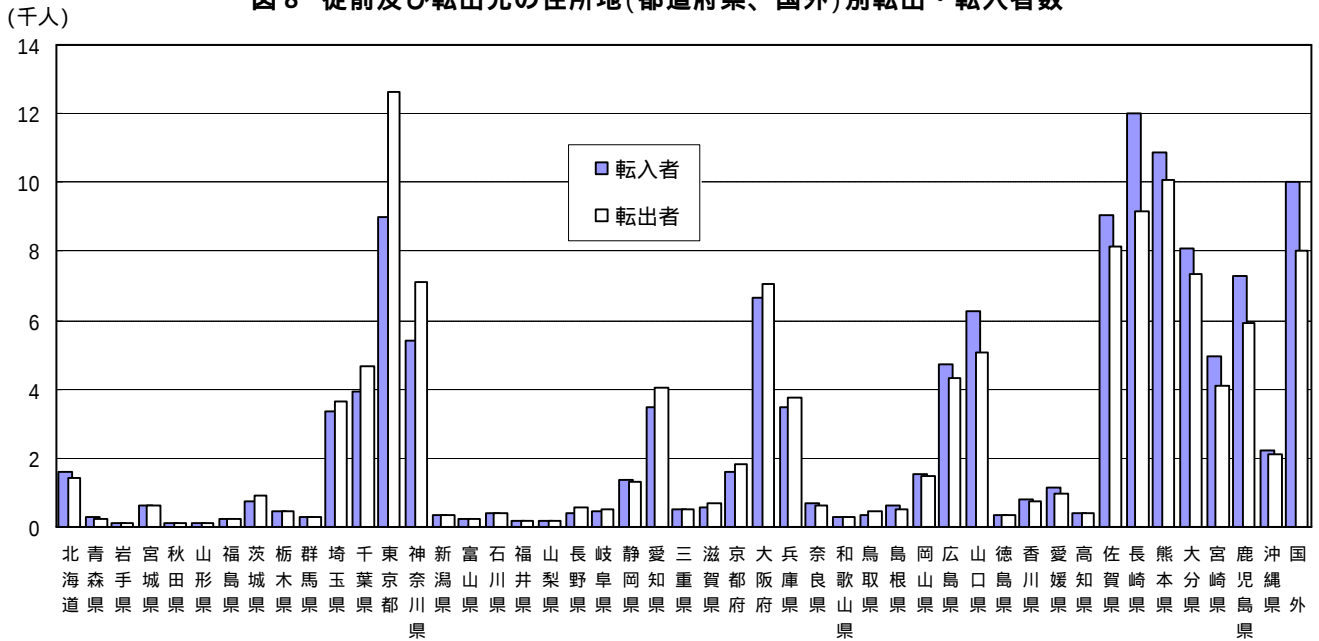


表29 従前住所地別県外転入者数順位
(前年10月1日～当年9月30日)

順位	従前住所地	転入者数 (人)	構成比 (%)
-	県外計	127,573	100.0
1	長崎県	12,013	9.4
2	熊本県	10,877	8.5
3	国	9,993	7.8
4	佐賀県	9,045	7.1
5	東京都	8,968	7.0
6	大分県	8,056	6.3
7	鹿児島県	7,266	5.7
8	大阪府	6,674	5.2
9	山口県	6,244	4.9
10	神奈川県	5,380	4.2

表30 転出先住所地別県外転出者数順位
(前年10月1日～当年9月30日)

順位	転出先住所地	転出者数 (人)	構成比 (%)
-	県外計	124,059	100.0
1	東京都	12,632	10.2
2	熊本県	10,073	8.1
3	長崎県	9,178	7.4
4	佐賀県	8,135	6.6
5	国	8,010	6.5
6	大分県	7,326	5.9
7	神奈川県	7,115	5.7
8	大阪府	7,081	5.7
9	鹿児島県	5,914	4.8
10	山口県	5,082	4.1

図9 従前住所地別県外転入者割合

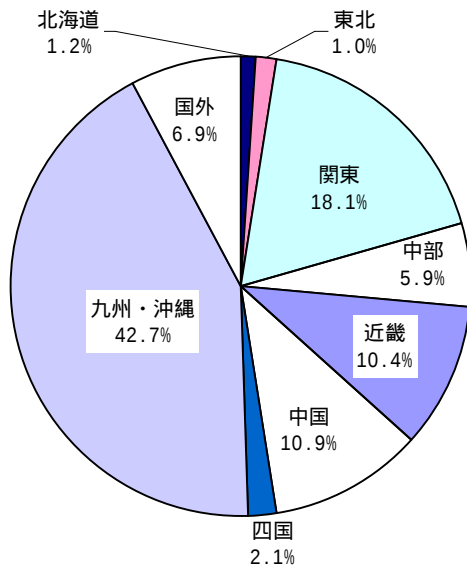
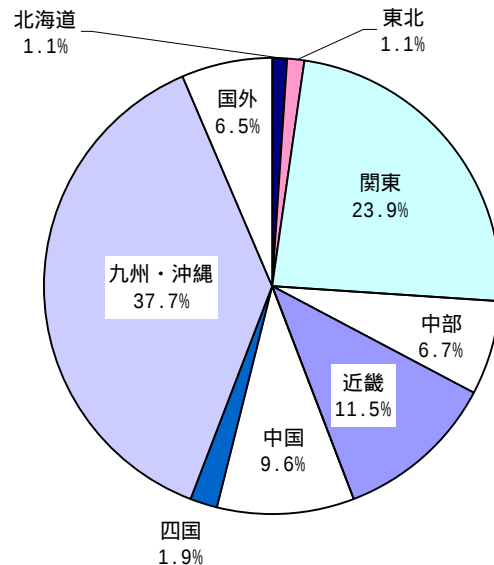


図10 転出先の住所地別県外転出者割合



(地域別県外転入・県外転出)

県外からの転入者を地域別にみると、福岡地域へは 79,603 人、北九州地域へは 26,254 人、筑豊地域へは 5,238 人、筑後地域へは 16,478 人となっており、福岡地域への転入者が 62.4%を占めている。(表 31)

4 地域とも九州各県や東京都からの転入者が多いが、筑豊地域では国外からの転入者が 758 人と最も多く、14.5%を占めている。

県外への転出者を地域別にみると、福岡地域からは 73,029 人、北九州地域からは 28,061 人、筑豊地域からは 5,577 人、筑後地域からは 17,392 人となっており、福岡地域からの転出者が 58.9%を占めている。

福岡地域では東京都(8,329 人、11.4%)への転出者が最も多くなっている。北九州地域では大分県(2,444 人、8.7%)や東京都(2,429 人、8.7%)への転出者が多くなっている。筑後地域では佐賀県(2,556 人、14.7%)や熊本県(2,534 人、14.6%)への転出者が多くなっている。筑豊地域では国外への転出者が 752 人と最も多く、13.5%を占め、転入も転出も国外との移動が最も多くなっている。(表 32、表 33)

表31 地域別県外移動者構成比
(前年10月1日～当年9月30日)

	転入者数(人)		転出者数(人)	
		構成比(%)		構成比(%)
福岡県	127,573	100.0	124,059	100.0
市 部	112,139	87.9	107,373	86.5
郡 部	15,434	12.1	16,686	13.5
福 岡	79,603	62.4	73,029	58.9
北九州	26,254	20.6	28,061	22.6
筑 豊	5,238	4.1	5,577	4.5
筑 後	16,478	12.9	17,392	14.0

表32 地域別県外からの転入者数順位及び構成比(前年10月1日～当年9月30日)

順位	福岡地域				北九州地域				筑豊地域				筑後地域			
	従 前 住所地	転入者数 (人)	構成比 (%)		従 前 住所地	転入者数 (人)	構成比 (%)		従 前 住所地	転入者数 (人)	構成比 (%)		従 前 住所地	転入者数 (人)	構成比 (%)	
-	県 外 計	79,603	100.0		県 外 計	26,254	100.0		県 外 計	5,238	100.0		県 外 計	16,478	100.0	
1	長 崎 県	8,929	11.2		山 口 県	2,789	10.6		国 外	758	14.5		佐 賀 県	2,352	14.3	
2	熊 本 県	6,958	8.7		大 分 県	2,271	8.7		長 崎 県	400	7.6		国 外	2,322	14.1	
3	東 京 都	6,078	7.6		国 外	1,890	7.2		大 阪 府	379	7.2		熊 本 県	2,231	13.5	
4	佐 賀 県	5,659	7.1		東 京 都	1,721	6.6		大 分 県	328	6.3		長 崎 県	1,079	6.5	
5	鹿児島県	5,401	6.8		長 崎 県	1,605	6.1		東 京 都	319	6.1		東 京 都	850	5.2	
6	国 外	5,023	6.3		熊 本 県	1,375	5.2		熊 本 県	313	6.0		大 分 県	751	4.6	
7	大 分 県	4,706	5.9		大 阪 府	1,321	5.0		神奈川県	216	4.1		神奈川県	629	3.8	
8	大 阪 府	4,354	5.5		神奈川県	1,196	4.6		山 口 県	212	4.0		大 阪 府	620	3.8	
9	宮 崎 県	3,514	4.4		広 島 県	1,188	4.5		佐 賀 県	210	4.0		鹿児島県	617	3.7	
10	神奈川県	3,339	4.2		鹿児島県	1,048	4.0		鹿児島県	200	3.8		宮 崎 県	451	2.7	

表33 地域別県外への転出者数順位及び構成比(前年10月1日～当年9月30日)

順位	福岡地域				北九州地域				筑豊地域				筑後地域			
	転出先 住所地	転出者数 (人)	構成比 (%)		転出先 住所地	転出者数 (人)	構成比 (%)		転出先 住所地	転出者数 (人)	構成比 (%)		転出先 住所地	転出者数 (人)	構成比 (%)	
-	県 外 計	73,029	100.0		県 外 計	28,061	100.0		県 外 計	5,577	100.0		県 外 計	17,392	100.0	
1	東 京 都	8,329	11.4		大 分 県	2,444	8.7		国 外	752	13.5		佐 賀 県	2,556	14.7	
2	長 崎 県	6,418	8.8		東 京 都	2,429	8.7		東 京 都	524	9.4		熊 本 県	2,534	14.6	
3	熊 本 県	5,677	7.8		山 口 県	2,342	8.3		大 阪 府	375	6.7		国 外	2,069	11.9	
4	大 阪 府	4,581	6.3		神奈川県	1,627	5.8		長 崎 県	340	6.1		東 京 都	1,350	7.8	
5	佐 賀 県	4,540	6.2		熊 本 県	1,535	5.5		熊 本 県	327	5.9		長 崎 県	910	5.2	
6	神奈川県	4,488	6.1		長 崎 県	1,510	5.4		神奈川県	303	5.4		大 分 県	737	4.2	
7	鹿児島県	4,068	5.6		国 外	1,469	5.2		大 分 県	294	5.3		神奈川県	697	4.0	
8	大 分 県	3,851	5.3		大 阪 府	1,460	5.2		愛 知 県	228	4.1		大 阪 府	665	3.8	
9	国 外	3,720	5.1		広 島 県	1,250	4.5		山 口 県	212	3.8		鹿児島県	603	3.5	
10	千 葉 県	2,798	3.8		千 葉 県	1,230	4.4		千 葉 県	208	3.7		愛 知 県	469	2.7	

調査の概要及び利用上の注意

1 調査の概要

(1) 調査の目的

福岡県人口移動調査は、国勢調査から次回の国勢調査までの間における県内各市町村の年齢別人口及び世帯数並びに出生者、死亡者、転入者、転出者等の移動状況を、月ごとに把握し、行政諸施策の立案・推進等に資することを目的としています。

(2) 調査の法的根拠等

この調査は、統計法第 8 条に基づき総務大臣に届け出た届出統計調査で、住民基本台帳法第 37 条に基づき実施しています。

(3) 調査の期日

調査は、毎月末日現在で、当月 1 か月間の移動人口について行っています。

(4) 調査の対象

調査の対象は、住民票に記載又は消除された者及び外国人登録法の規定に基づき登録申請又は登録証明書を返納した者です。

2 利用上の注意

本年報は、人口及び世帯数については平成 13 年 10 月 1 日現在の数値であり、動態については平成 12 年 10 月 1 日から平成 13 年 9 月 30 日までの数値をとりまとめたものです。

(1) 人口・世帯の推計方法

人口及び世帯数は、国勢調査の数値を基準とし、「福岡県人口移動調査」によって得られる毎月の出生者、死亡者、転入者、転出者及び世帯の増減を加減し算出しています。

なお、基準人口となる国勢調査人口の中には、「年齢不詳」(平成 12 年国勢調査で 9,589 人)も含まれていますが、これは日本人と外国人の区別がつきません。本県では、これをすべて日本人とみなして基準人口に加えています。

(2) 社会増加の推計方法

県内市区町村ごとの社会増加数は「転入者数 - 転出者数」で算出します。

また、本年報における福岡県全体の社会増加数については、各市町村の社会増加数を累計した数値です。

(3) 県内移動者の扱いについて

福岡県全体における県内他市区町村からの転入者数の計と県内各市区町村への転出者数の計は理論上一致しますが、実際は各市町村における転出届と転入届の届出時期のずれなどにより必ずしも一致しません。

このため、本年報における県内市区町村間の移動者(県内移動者)については、県内他市区町村からの転入者数を用いています。

(4) 年齢別人口における「計算不能」について

「計算不能」とは、国勢調査と住民基本台帳及び外国人登録との人口の把握方法に違いがあることで、死亡者及び転出者が、届出を受けた市区町村の(推計)人口に含まれていない場合に生じます。その主な原因として、以下の場合があり得ます。

住民票又は外国人登録原票がある市区町村に常住しておらず、国勢調査時に別の市区町村で調査された人について、死亡又は転出の届出が行われた場合

住民票又は外国人登録原票がある市区町村に常住しているが、何らかの事情で国勢調査時に調査されなかった人について、死亡又は転出の届出が行われた場合

この場合、年齢別(推計)人口から該当する人口を減ずることができないために、別途「計算不能」にマイナス値として計上しています。

(5) 本年報で用いる面積値について

面積は、建設省国土地理院が公表した「平成 12 年全国都道府県市区町村別面積調」(以下「面積調」という。)の数値(平成 12 年 10 月 1 日現在)を用いています。

しかし、この「面積調」には、その一部に市区町村の境界に変更等があっても、国土地理院の調査が未了のため、変更以前の面積が表示されているものや境界未定のため関係市区町村の合計面積のみが表示されているものがあるため、県内すべての市区町村の面積値は掲載されていません。

このため、本年報における福岡県の境界未定市町(2 市 8 町)の面積については、総務省統計局が平成 12 年国勢調査時点(平成 12 年 10 月 1 日現在)で推定した数値を用いています。

また、県全体の面積については、「面積調」による各市区町村面積と境界未定市町分の総務省の推定面積を合算した数値を用いています。

なお、総務省統計局の推定面積は、後に国土地理院が測定の上公表する面積と一致しないことがありますので、利用の際には御注意ください。

(6) 平成 7 年 9 月以前の推計人口と福岡県人口移動調査開始後の推計人口との相違

福岡県人口移動調査開始以前の推計人口では、外国人の人口及び世帯の増加について、政令市は毎月の人口と世帯を加減し、政令市以外の市町村は毎年 6 月末日と 12 月末日現在の「外国人登録国籍別人員調査票」から得られる登録人口のみを加減していたため、外国人の要因別人口動態及び外国人を含む男女別の推計人口は把握できませんでした。

しかし、平成 7 年 10 月の人口移動調査開始以後は、外国人についても日本人と同様に毎月の出生者、死亡者、転入者、転出者の増減を加減しているため、人口動態及び男女別推計人口は外国人が含まれた数値となっています。なお、福岡県人口移動調査では外国人世帯の増減を加味していませんので、利用の際には御注意ください。

(7) 国勢調査による人口・世帯と住民基本台帳による人口・世帯との定義上の相違

国勢調査では、10 月 1 日現在すでに 3 か月以上そこに住んでいる人、又は住むことになっている人を調査の対象としており、外国人も含まれていますが、住民基本台帳による人口は台帳に登録されている日本人のみの数になります。

また、学生寮、病院、社会施設等の世帯の決め方は、国勢調査では棟ごとに 1 世帯などとしているのに対し、住民基本台帳では 1 人 1 世帯としているなど、若干の相違があります。

(8) 厚生労働省の「人口動態統計」における自然動態と福岡県人口移動調査における自然動態との相違

厚生労働省所管の「人口動態統計」での出生数及び死亡数は、市区町村に届け出られた日本人の出生及び死亡の件数を発生月ごとに取りまとめており(発生主義)、厚生労働省統計情報部の刊行する「人口動態統計年報」では、当該年 1 月 1 日から翌年 1 月 14 日までに届け出られたもののうち、当該年に発生した数を集計しています。

これに対し、人口移動調査では出生(死亡)届又は通知により住民票に記載(住民票から削除)された日本人及び、出生(死亡)により新規登録(登録原票の閉鎖)があった外国人の数を、届出のあった月の件数として取りまとめており(届出主義)、年報では前年 10 月 1 日から当年 9 月 30 日までを 1 年として集計しています。

(9) 総務省統計局の各年「10 月 1 日現在推計人口」と福岡県人口移動調査による推計人口との相違

総務省統計局では、毎年 10 月 1 日現在で全国及び都道府県別の人口推計を行っています。

総務省の推計も福岡県人口移動調査による推計も、いずれも国勢調査の人口を基準としています

が、人口増加数の算出において、総務省の推計では総務省統計局の「住民基本台帳人口移動報告」、厚生労働省の「人口動態統計(概数)」等、国の各種統計値を用い、また外国人人口増加数については、全国での増加数を各都道府県に按分するのに対し、福岡県人口移動調査においては、市町村から報告される人口移動データのみを用いて算出しています。

3 用語の説明

(1) 用語の定義

- ・出生者：出生届又は出生の通知により住民票に記載された者及び出生により新規登録申請のあった外国人
- ・死亡者：死亡届又は死亡の通知により住民票から削除された者及び死亡により登録原票を閉鎖した外国人
- ・転入者：転入届により住民票に記載された者及び職権で住民票に記載された者
外国人で、居住地変更の申請があった者及び新規登録の申請があった者
- ・転出者：転出届により住民票から削除された者及び職権で住民票から削除された者
外国人で、新住所地へ登録原票を送付した者及び登録原票を閉鎖した者
- ・総移動数：転入者と転出者の合計
- ・移動者数：県内転入者、県外転入者及び県外転出者の合計
- ・期初人口：平成12年10月1日現在の人口(国勢調査人口)
- ・年少人口：0～14歳人口
- ・生産年齢人口：15～64歳人口
- ・老年人口：65歳以上人口
- ・年少人口割合：総人口に占める年少人口の割合
- ・生産年齢人口割合：総人口に占める生産年齢人口の割合
- ・老年人口割合：総人口に占める老年人口の割合
- ・全国地域区分：本年報における都道府県の地域区分は下表のとおりです。

地域区分	都 道 府 県
北海道	北海道
東北	青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東	茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県
中部	新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、愛知県、三重県
近畿	滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国	鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県
四国	徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州・沖縄	(福岡県)、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

- ・県内4地域及び10広域圏

4 地 域	10 広 域 圏	市 郡
福岡地域	福岡都市広域圏	福岡市、筑紫野市、春日市、大野城市、宗像市、太宰府市、前原市、古賀市、筑紫郡、糟屋郡、宗像郡、糸島郡
	甘木・朝倉広域圏	甘木市、朝倉郡
北九州地域	北九州都市広域圏	北九州市、中間市、遠賀郡
	京築広域圏	行橋市、豊前市、京都郡、築上郡

筑 豊 地 域	飯塚広域圏	飯塚市、山田市、嘉穂郡
	田川広域圏	田川市、田川郡
	直方 鞍手広域圏	直方市、鞍手郡
筑 後 地 域	久留米広域圏	久留米市、大川市、小郡市、浮羽郡、三井郡、三潁郡
	有明広域圏	大牟田市、柳川市、山門郡、三池郡
	八女 筑後広域圏	八女市、筑後市、八女郡

(2) 各種指数の算出方法

- ・人口増加数（人）： 自然増加数 + 社会増加数
- ・人口増加率（％）： $(\text{人口増加数} / \text{期初人口}) \times 100$
- ・自然増加数（人）： 出生者数 - 死亡者数
- ・自然増加率（％）： $(\text{自然増加数} / \text{期初人口}) \times 100$
- ・出生率（‰）： $(\text{出生者数} / \text{期初人口}) \times 1000$
- ・死亡率（‰）： $(\text{死亡者数} / \text{期初人口}) \times 1000$
- ・社会増加数（人）： 転入者数 - 転出者数
- ・社会増加率（％）： $(\text{社会増加数} / \text{期初人口}) \times 100$
- ・転入率（％）： $(\text{転入者数} / \text{期初人口}) \times 100$
- ・転出率（％）： $(\text{転出者数} / \text{期初人口}) \times 100$
- ・転入超過数（人）： 転入者数 - 転出者数
- ・総移動数（人）： 転入者数 + 転出者数
- ・総移動率（％）： $(\text{総移動数} / \text{期初人口}) \times 100$
- ・移動者数（人）： 県内転入者 + 県外転入者 + 県外転出者
- ・移動率（％）： $(\text{移動者数} / \text{期初人口}) \times 100$
- ・性比： $(\text{男の数} / \text{女の数}) \times 100$
- ・出生性比： $(\text{男の出生者数} / \text{女の出生者数}) \times 100$
- ・死亡性比： $(\text{男の死亡者数} / \text{女の死亡者数}) \times 100$
- ・平均年齢： $\{(\text{年齢(各歳)} \times \text{各歳別人口}) / \text{総人口}\} + 0.5$
- ・年齢中位数： 人口を年齢順に並べたとき、その中央で全人口を2等分する境界点にある年齢
- ・従属人口指数： $\{(\text{年少人口} + \text{老年人口}) / \text{生産年齢人口}\} \times 100$
- ・年少人口指数： $(\text{年少人口} / \text{生産年齢人口}) \times 100$
- ・老年人口指数： $(\text{老年人口} / \text{生産年齢人口}) \times 100$
- ・老年化指数： $(\text{老年人口} / \text{年少人口}) \times 100$

(3) 使用記号

- 0.0、0.00： 0.05 未満、0.005 未満
- ： 皆無、該当数字無し
- ...： 不詳
- 、（ - ）： 負数
- P： 暫定値
- ポイント： 構成比又は増加率の差

(注) 年報中の小数点 1、2 位の数値は、それぞれ小数点 2、3 位を四捨五入して表示しているため、個々の数値を合算して得た数値と総数とは必ずしも一致しません。

本年報及び福岡県人口移動調査についてのお問い合わせは下記までお願いします。

〒812-8577

福岡市博多区東公園 7 番 7 号

福岡県企画振興部調査統計課生活統計第一係

電話 直通 (092) 643-3186

代表 (092)651-1111 (内線 2770, 2771)